

七飯養護学校おしま学園分校

コミュニティースクールから

出発した新たな取組

おしま学園分校では、これまで毎年12月に石別地区観光事業である「トランプスト通り並木道ライトアップ」に、児童生徒が制作したワックスキャンドルを提供させていただくことで参加してきましたが、児童生徒の多くは施設入所していることから、実際にイベント当日に、点灯されたキャンドルを見学に行くことが難しい現状でした。

このことについて、今年度導入した学校運営協議会でお話したところ、北斗市観光課や石別ふれあう会の皆さまに御尽力いただき、12月19日(月)に見学に行くことができました。

今号では、各学部で取り組んだキャンドル制作と見学当日の様子について、紹介させていただきます。

【小学部】

図工で、中学部と高等部の生徒が制作したキャンドルに、ツリーやサンタクロースなどの絵を描いたり、ハートや星形の模様をカラフルな色に仕上げするなどオリジナルキャンドルを作りました。



みんなに見てもらえますように！

【中学部】

作業学習という学習で、1人2個ずつキャンドルを制作しました。

制作する前に、北斗市役所観光課の職員が作成した「キャンドル作り」のメ



トナカイの特徴を調べてみよう！

ッサージ動画を見ました。きれいな「ライトアップ」をイメージし、ワックスキャンドル作りに取り組みました。

また、タブレット端末を用いて、見本となるイラストや画像を検索しながら絵付けを行い、一人一人の思いが込められたキャンドルを作ることができました。

【高等部】

高等部では溶かしたろうを牛乳パックの型に入れ、型を回しながらゆっくり冷ました後に、氷水につけてしっかりと固める手順で、キャンドルを制作しました。手が冷たくなったりして大変でしたが、タイマーで時間を計りながら取り組み、きれいな形のキャンドルを作ることができました。



早く固まりますように！

【見学】

当日は、バスを用意していただき出発しました。天候にも恵まれ、会場である修道院の正門前には、本校の児童生徒が



キャンドルを囲んで記念撮影

制作したキャンドルがハート型に並べられていました。児童生徒はその中から自分が作ったキャンドルを見つけ、火がともされる様子をわくわくしながら見つめていました。

点灯後は、雪と光が織りなす幻想的な景色の中、夜空の星や並木道のイルミネーションに目を輝かせながら、冬道散策を楽しみました。

また、自分たちが作ったキャンドルを点灯していただき見学できたことは、児童生徒にとって何にも代えがたい貴重な体験となりました。

今年度、学校運営協議会を導入したことで、地域で行う教育活動の充実が図られました。引き続き学校・地域・保護者の連携・協働を図り、地域とともにある学校づくりを通して、児童生徒の成長や生きがいになる取組を実践していきたいと考えています。

(七飯養護学校おしま学園分校

教頭 小野寺 利江)